

## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 ムトー精工株式会社  
 コード番号 7927 URL <http://www.muto.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 田中 肇  
 (氏名) 金子 貞夫

TEL 058-371-1100

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,899	43.1	130	—	128	—	51	—
24年3月期第1四半期	4,122	△20.3	△69	—	△83	—	△30	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △306百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △136百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	7.17	—
24年3月期第1四半期	△4.14	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	19,723	10,703	51.2
24年3月期	19,641	11,087	53.3

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 10,099百万円 24年3月期 10,473百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	9.00	—	10.50	19.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	13.4	500	148.6	550	279.8	400	—	54.94
通期	22,600	13.1	900	143.0	980	142.4	700	—	96.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	7,739,548 株	24年3月期	7,739,548 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	494,242 株	24年3月期	459,142 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	7,245,306 株	24年3月期1Q	7,345,453 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復旧に関連した工事の発注が本格化するなど内需が堅調に推移し、エコカー補助金により自動車販売が増加したほか、消費マインドの改善で高額品販売も堅調に推移するなど個人消費や設備投資に緩やかな回復の動きが見られるものの、深刻化する欧州政府債務問題による海外経済の減速、長引く円高など依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループにおきましても、既存の顧客に加え、新規顧客からの受注を順調に確保し、震災前の仕事量まで持ち直すことができました。

前連結会計年度に引き続き、海外生産の強化、内製化をはじめとするいっそうの生産効率の向上、原価低減活動を積極的に進めてまいりました結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は58億9千9百万円と前年同四半期と比べ17億7千6百万円(43.1%)の増収、営業利益は1億3千万円と前年同四半期と比べ1億9千9百万円(前年同四半期は営業損失6千9百万円)の増益、経常利益は1億2千8百万円と前年同四半期と比べ2億1千1百万円(前年同四半期は経常損失8千3百万円)の増益、四半期純利益は5千1百万円と前年同四半期と比べ8千2百万円(前年同四半期は四半期純損失3千万円)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、主力製品でありますデジタルカメラ、ビデオカメラ等のAV関連部品、カーナビゲーション、カーエアコン等の自動車関連機器部品とも順調に受注を確保し、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて50億1千5百万円と前年同四半期と比べ15億1千6百万円(43.3%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億2千6百万円と前年同四半期と比べ1億6千3百万円(前年同四半期は営業損失3千6百万円)の増益となりました。

#### ②精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、得意先の一環レフデジタルカメラの製品群及び各機種の生産数量の増加を背景に受注を順調に増やし、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて9億2千5百万円と前年同四半期と比べ2億6千3百万円(39.7%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1百万円と前年同四半期と比べ3千3百万円(前年同四半期は営業損失3千2百万円)の増益となりました。

#### ③プリント基板事業

当セグメントにおきましては、前年並みに推移し、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて6千3百万円と前年同四半期と比べ2百万円(4.4%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1百万円と前年同四半期と比べ2百万円(前年同四半期は営業損失0百万円)の増益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億4百万円増加し、118億2千1百万円となりました。現金及び預金が4千6百万円、受取手形及び売掛金が2億2千2百万円、原材料及び貯蔵品が4千2百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億2千2百万円減少し、79億1百万円となりました。有形固定資産が2億5千5百万円減少し、投資有価証券が3千7百万円増加したことが主な要因です。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ8千2百万円増加し、197億2千3百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億7千6百万円増加し、71億6千5百万円となりました。短期借入金が4億4千2百万円増加し、その他(流動負債)が1億7千7百万円減少したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億8千9百万円増加し、18億5千4百万円となりました。長期借入金が1億9千7百万円増加したことなどが主な要因です。この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ4億6千6百万円増加し、90億2千万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億8千3百万円減少し、107億3百万円となりました。為替換算調整勘定が3億2千6百万円、その他有価証券評価差額金が2千2百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想(第2四半期連結累計期間、通期)及び配当予想(中間期末、期末)につきましては、平成24年5月11日にて公表いたしました「決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

海外連結子会社についての税金費用の計算については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,531,744	2,578,353
受取手形及び売掛金	5,464,936	5,687,036
商品及び製品	611,408	619,132
仕掛品	868,691	884,719
原材料及び貯蔵品	1,454,825	1,497,679
未収入金	261,539	250,981
繰延税金資産	36,928	28,659
その他	287,981	276,037
貸倒引当金	△615	△615
流動資産合計	11,517,441	11,821,984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,294,463	2,219,657
機械装置及び運搬具（純額）	3,059,732	2,934,818
土地	1,298,379	1,298,379
建設仮勘定	221,565	185,765
その他（純額）	729,759	709,397
有形固定資産合計	7,603,900	7,348,018
無形固定資産	222,990	218,817
投資その他の資産		
投資有価証券	241,052	278,733
繰延税金資産	700	1,799
その他	75,243	74,077
貸倒引当金	△19,460	△19,460
投資その他の資産合計	297,536	335,150
固定資産合計	8,124,427	7,901,986
資産合計	19,641,869	19,723,971

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,636,556	3,631,706
短期借入金	1,191,174	1,633,480
1年内返済予定の長期借入金	885,995	920,482
未払法人税等	83,452	64,749
賞与引当金	130,969	131,827
その他	960,256	783,117
流動負債合計	6,888,405	7,165,364
固定負債		
長期借入金	1,263,686	1,461,168
繰延税金負債	515	321
退職給付引当金	219,096	224,830
役員退職慰労引当金	173,076	160,583
その他	9,517	8,050
固定負債合計	1,665,892	1,854,955
負債合計	8,554,298	9,020,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,235,713	2,235,713
利益剰余金	8,738,190	8,731,902
自己株式	△330,034	△349,398
株主資本合計	12,832,828	12,807,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,481	△17,932
為替換算調整勘定	△2,363,725	△2,689,964
その他の包括利益累計額合計	△2,359,244	△2,707,896
少数株主持分	613,986	604,371
純資産合計	11,087,570	10,703,651
負債純資産合計	19,641,869	19,723,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,122,624	5,899,469
売上原価	3,592,896	4,985,599
売上総利益	529,728	913,870
販売費及び一般管理費	599,375	783,621
営業利益又は営業損失(△)	△69,646	130,248
営業外収益		
受取利息	5,986	3,075
受取配当金	2,724	2,762
負ののれん償却額	14,091	—
その他	16,406	30,802
営業外収益合計	39,209	36,639
営業外費用		
支払利息	7,244	6,632
為替差損	46,005	31,724
その他	—	280
営業外費用合計	53,249	38,636
経常利益又は経常損失(△)	△83,687	128,251
特別利益		
固定資産売却益	—	868
特別利益合計	—	868
特別損失		
固定資産売却損	3,211	—
固定資産除却損	7	40
特別損失合計	3,219	40
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△86,906	129,079
法人税等	△68,261	62,272
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△18,644	66,807
少数株主利益	11,790	14,852
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,434	51,955



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△18,644	66,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,500	△22,413
為替換算調整勘定	△104,359	△350,706
その他の包括利益合計	△117,860	△373,120
四半期包括利益	△136,504	△306,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△139,193	△296,697
少数株主に係る四半期包括利益	2,688	△9,615

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,420,993	643,626	58,004	4,122,624	—	4,122,624
セグメント間の内部 売上高又は振替高	78,444	18,872	2,778	100,096	△100,096	—
計	3,499,438	662,499	60,782	4,222,720	△100,096	4,122,624
セグメント損失(△)	△36,671	△32,173	△802	△69,646	—	△69,646

(注) セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,989,485	849,546	60,438	5,899,469	—	5,899,469
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,514	76,276	3,000	105,790	△105,790	—
計	5,015,999	925,822	63,438	6,005,260	△105,790	5,899,469
セグメント利益	126,962	1,296	1,989	130,248	—	130,248

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)  
該当事項はありません。